

事業報告書

団体名： わたぼうしの会

1. 事業名	なんたんで普通にくらすことⅡ 青野浩美さんコンサート
2. 実施内容	実施した内容を具体的に記入してください。(日時、場所、参加者数、内容など)
<p>平成 27 年 6 月 27 日午後 3 時から 5 時まで、気管切開をした声楽家、青野浩美さんをお招きし、ガレリアかめおか響ホールにて、青野さんの今に至る闘病生活、歌に対する思い、これからの事などのお話を交えながらのコンサートを開催しました。</p> <p>120 名の方が来て下さり、青野さんの軽快なトークと美しい歌声に、あっという間に時間が過ぎました。来場者の年齢層が幅平買ったのですが、クラシックから童謡、映画音楽まで幅広く選曲して頂いて、一緒に歌ったり、「しあわせならてをたたこう」の歌で会場が一つになる事が出来ました。</p> <p>アンコールはしませんよと仰っていましたが、みんなのリクエストにこたえていただき、温かい拍手でコンサートを終える事が出来ました。</p>	
3. 成果	事業の実施により、課題解決がどのように図られたのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、事業の効果や成果を数値、具体例などを用いて具体的に記入してください。
<p>事前に医療ケアについての専門用語についての資料を配布し、青野さんの話がスムーズに進むようにしました。コンサートの中で、青野さんも幅広い方にわかりやすいように、病気になってから今までで不自由に感じた事、くじけそうになった事、多くの支えで今がある事を、自分の体験を踏まえてお話し下さり、コンサート後に取ったアンケート調査でも『良かった』『元気をいただきました』『感動しました。』などの声を多くいただきました。</p> <p>私たちが暮らすこの地域の中でも、誰もが安心して普通に暮らしていけるように、一人一人の小さな心遣いや、支えあえる優しさを、一人でも多くの方と共有できたかなと思います。</p> <p>コンサートに参加した方々の胸にまかれた種が、それぞれの生活の場で目を出し大きく花開き、誰かの心の種になって広がっていくことを望みます。</p> <p>コンサート終了後にサイン会をして頂きましたが、その場でも青野さんに直接感謝や激励の声かけをしている方々おられました。</p> <p>今後とも青野さんの活躍を心より、応援したいと思います。</p> <p>そして、私たちもこの地域の中で声をあげて生き続けたいと思います。</p>	
4. 協働の効果	※市民連携事業・行政連携事業のみご記入ください。 事業を協働で実施したことによる効果について、数値や具体例などを交えながら具体的に記入してください。

5. 今後の展開	事業の実施成果を受けて、今後の事業展開をどのようにされるのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、記入してください。
----------	--

今回のコンサートを経て、『医療的ケア』という課題については個々の認識が未熟であったり、身近に医療的ケアが必要な方がおられたり、仕事としてかかわっておられない場合は、日常の中で共生して行く事は難しいと改めて認識しました。

特に支援学校や卒業後の場での『医療的ケア』についての認識はとても低かったと思います。

しかしながら、今回のような実体験を踏まえた体験者との時間を共有することで、お互いの事を認識し、歩み寄り、いたわりの気持ちで接する事は難しくないと感じました。

『医療的ケア』については個々の環境やそれぞれ抱える問題によって何が必要かは異なってくると思いますが、まずは『医療的ケア』がどういうもので、どんな状況なのかを、これからもより多くの方に、認識して頂くために、声をあげ続けていきたいと思っています。

それから、障害、年齢、性別、仕事などに関わらず、明日という日に夢を持って生活していける環境作りも大切なことだと思いました。

自然災害や、社会情勢、温暖化などによる異常気象など不安が多い昨今ですが、せめて、人として自分の周りの人だけでなく自分自身にとっても、過ごしやすい社会になって欲しいし、そのために何が出来るのかを考え続けていきたい。

不特定多数の入場者の方の為、今後のフォローについては個人的に啓発とかは難しいとは思いますが、次回また医療福祉に関する事業を温めて企画し、改めて啓発して行きたいと考えています。

今回のコンサート後のアンケート結果を踏まえて、まだまだ地域の中での認識や当事者の苦勞などの理解が得られていないことが分かりましたが、こういった活動を繰り返すことで、少しでも多くの方に医療的ケアと福祉についての事を知ってもらえる機会を作っていきたいと考えています。

肢体不自由児を抱えての活動なので、一つの事業をするのもなかなか大変なこともあります。息の長い活動で、今後とも地域の中でどのような障害を抱えていても、普通にいらしていただける街づくりを行っていきたくと思っています。具体的には、大きなことはできませんが、子どもと共に社会参加をすることで理解を深めてもらえれば嬉しく思います。私たちが参加できる行事を各市町村の福祉課の方にも企画して頂ければ嬉しいと思うのですが。ぜひとも私たちの存在についての理解と、温かい見守りをお願いしたいと思います。

今後も福祉関係、医療関係だけではなく社会にメッセージを発信して行きます。

※チラシや参加者への配布資料、事業実施写真など実施状況が分かる資料を添付してください。

※記載内容が本様式に入りきらない場合は、適宜追加してください。

～なんとんで普通にくらすことⅡ～
青野浩美さんコンサート



平成27年6月27日(土)

入場無料

時間 15:00～17:00 (14:30開場)

会場 ガレリアかめおか 響ホール (定員150名)

『わたし“前例”をつくります』の著作者 青野浩美さん、気管切開をした声楽家。
言葉にしてしまうとたった1行になってしまいますが、彼女の素晴らしいところは、美しい歌声、音楽に対する熱い思い、何より「生きる」という強い心をお持ちの女性。声楽家にとって声を失うということの辛さ…青野さんの病気になってからの様々な試練を乗り越え、夢に向かい前に進んでいく力は家族や、友人、青野さんに関わった人たちの応援があればこそではないでしょうか？そして今、彼女はそのすべての方たちに勇氣と希望を与えています。

人生の中で、どんなに辛い事があっても、卑屈にならず前向きにチャレンジしていく彼女のこれまでの日々を、美しい歌声と共に多くの方に届けたいと思います。自分自身の障害を受け入れること、生きていくために必要な医療ケアのこと、夢を持って生きていくということを考えるコンサートにしたいと思います。

◆ 裏面の申込書に必要事項をご記入のうえ FAX にてお申し込みください ◆

※事前申込なしで当日来場も可能ですが、お申し込みいただいた方優先となります

主催 わたぼうしの会

共催 南丹圏域障害者総合相談支援センター結丹(ゆに)
亀岡市障害者相談支援センターお結び
花ノ木医療福祉センター
障害者生活支援センターこひつじ

後援 南丹広域振興局 亀岡市 南丹市 京丹波町
(予定) 亀岡市教育委員会 南丹市教育委員会 京丹波町教育委員会

お申し込み・お問い合わせ先

〒621-0042 亀岡市千代川町高野林西ノ畑 16-19
南丹圏域障害者総合相談支援センター結丹(ゆに)事務局
TEL: 0771-20-1262 FAX: 0771-20-1246
担当: 和田 s-wada@syokaen.jp

【わたぼうしの会】とは

“わたぼうしの会”は、重度重複障がいの子どもたちが、より良い生活を送るために、親である私たちの知識向上やサポートをしてくださる方と更に連携を図ることを目的とし、2012年に発足しました。丹波支援学校在校生および卒業生の親を中心としたメンバーで活動をしています。

重い障害を持つ親同士、悩みを打ち明けたり、愚痴をこぼしたり、励ましあったり、制度や病気についても勉強していけるような、温かい楽しい会を、息を長く続けていけたらうれしいと思っています。月に一度参加できる方で集まり、勉強会や語らいの場を持っています。

“わたぼうしの会”の名前の由来は、『タンポポが咲いた後でできるわたぼうしは、一つ一つはふわふわと頼りなさげですが、どんな荒れ地でも根をしっかりと張り、誰もが知っているかわいい花を咲かせます。ふんづけられても、カンカンの日照りでもじっと耐え抜いて、また花をもたげてきます。私たちもそんな風に強くたくましく大きくなっていきたい』との願いで付けられました。



2013年2月 わたぼうしの会